

川橋岡

廣中町濱口氏
寶曆五乙亥歲
東都龍湖三井親和書

—庶民の願い・絵師の技—

江戸の幟旗

のぼりばた

平成21年 7/28(火)~9/13(日)

開館時間=午前10時~午後6時(入館は午後5時30分まで)
 毎週金曜日は午後7時まで(入館は午後6時30分まで)
 休館日=8月3日(月)、10日(月)、17日(月)、24日(月)、31日(月)、9月7日(月)
 入館料=一般300円(240円)、小中学生100円(80円)
 *()内は10名以上の団体料金/60歳以上の方及び障がい者の方は無料/毎週土曜日は小中学生無料

渋谷区立松濤美術館
 〒150-0046 東京都渋谷区松濤2-14-14 TEL 03-3465-9421
 FAX 03-3460-6366 <http://www.city.shibuya.tokyo.jp/>



—庶民の願い・絵師の技—

江戸の幟旗

のぼりばた



端午の節句や神社の春秋の祭りの際に飾りとして立てられた幟旗は、浮世絵や絵馬などと並んで、江戸時代の庶民的な絵画の代表格でした。江戸時代の庶民にとって、子供の健やかな成長への願いを込めて、端午の節句に幟旗を立てることは重要な年中行事であり、村の鎮守の祭りに立派な幟旗を立てることは、地域の誇りだったと思われます。幟旗には確かな腕を持った絵師によって勇壮な武者などを主題とする豪華な絵が描かれ、時には有名な書家に頼んだ立派な書が染め出されました。人々の素朴な願いの結晶である幟旗は、江戸時代の庶民文化の豊かさを体現するものだったのです。

本展は北村勝史、鈴木忠男、林直輝の三人のコレクターのご協力により、三コレクションあわせて500点近い幟旗から約100点を厳選して、その絵画表現の質の高さを提示しようとするものです。近世の幟旗の豊かな世界をご堪能ください。

THE SHOTO MUSEUM OF ART

渋谷区立松濤美術館

〒150-0046 東京都渋谷区松濤2-14-14 TEL 03-3465-9421
FAX 03-3460-6366 <http://www.city.shibuya.tokyo.jp/>

表面

- 左 郭君子(S)
- 右 八幡宮(K)
- 上 民の籠(かまど)(K)
- 下 鯉金(K)

いずれも部分。

所蔵：(K)=北村勝史氏、(S)=鈴木忠男氏、(H)=林直輝氏



JR渋谷駅下車徒歩15分
京王井の頭線神泉駅徒歩5分

【座談会「幟旗を語る」】8月22日(土) 午後2時から
北村勝史(幟旗研究家)、鈴木忠男(美術コレクター)、
林直輝(吉徳資料室学芸員)、矢島新(跡見学園女子大学教授)

【ギャラリー・トーク】8月12日(水) 午後2時から
講師：北村勝史(幟旗研究家)

【美術映画会】8月1日(土) 午後2時～3時
「浮世絵とジャポニズム」、世界美の旅シリーズ「ゴッホ」

【美術相談】8月30日(日) 午後2時～4時
講師：水野道子(水彩画)